

（仮称）旧上瀬谷通信施設公園の基本計画（原案）について

旧上瀬谷通信施設については、令和2年3月に「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」を公表し、まちづくりの一環として新たな公園の整備を計画しています。

このたび、（仮称）旧上瀬谷通信施設公園について、令和2年度に行った基本計画（素案）に関する市民意見募集でいただいたご意見をもとに、関連事業の進捗などを踏まえた検討を加え、基本計画（原案）を策定しましたので、ご報告します。

1 旧上瀬谷通信施設の概要

面積：約242ha

（国有地 109.5ha／市有地 22.7ha／民有地 110.0ha）

土地利用計画：農業振興、観光・賑わい、物流、
公園・防災

2 （仮称）旧上瀬谷通信施設公園の概要

公園名称：（仮称）旧上瀬谷通信施設公園

所在地：瀬谷区瀬谷町、旭区上川井町

面積：約45ha



公園位置図

3 公園整備に関する主な経過

平成27年6月	旧上瀬谷通信施設の全域が返還
令和元年12月	旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（素案）公表
令和2年1月	環境影響評価計画段階配慮書（公園）の縦覧
令和2年3月	旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画策定
令和2年12月	（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（素案）とりまとめ 市民意見募集（令和2年12月17日～令和3年1月15日）
令和3年2月	市民意見募集実施結果の公表
令和3年5月	（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（原案）の策定

4 基本計画（原案）の概要

資料1 のとおり

5 今後のスケジュール（予定）

令和3年度～	環境影響評価方法書 提出（6月） 公共事業評価 環境影響評価準備書 提出
令和4年度～	環境影響評価書 提出 （仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画 確定
令和5年度～	公園整備 着手

【参考】別添資料

- ・「（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（素案）」に対する市民意見募集の実施結果について
- ・（仮称）旧上瀬谷通信施設公園基本計画（素案）について（市民意見募集リーフレット）

「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(素案)」に対する
市民意見募集の実施結果について

1 市民意見募集の実施概要

実施概要	
実施期間	令和2年12月17日(木)から令和3年1月15日(金)まで (30日間)
リーフレット 配布場所	公園緑地整備課、市民情報センター、区役所(旭区、瀬谷区)、PR ボックス(旭区、瀬谷区内の公共施設、鉄道駅等のPRボックス) にて配布のほか、市ウェブサイトで閲覧
意見提出方法	はがき(切手不要 基本計画(素案)のリーフレットに添付) ファクス、電子メール、電子申請システム(市ウェブサイト内)、 持参(市庁舎28階 公園緑地整備課上瀬谷担当で受付)

2 市民意見募集の実施結果

意見通数(通)	意見総数(件)
227	416

提出方法	意見通数(通)
はがき	82
FAX	54
メール	38
電子申請	50
持参	3
合計	227

住所別	意見通数(通)	住所別	意見通数(通)	住所別	意見通数(通)
鶴見区	11	旭区	39	戸塚区	19
神奈川区	3	磯子区	2	栄区	6
西区	8	金沢区	2	泉区	8
中区	7	港北区	7	瀬谷区	50
南区	13	緑区	4	横浜市外	6
港南区	5	青葉区	2	不明	27
保土ヶ谷区	7	都筑区	1	合計	227

3 意見の内訳

	項目	意見数(件)	計(件)
公園 について	公園計画の基本テーマについて	9	336
	公園整備の8つの方針について	108	
	エリアの考え方について	39	
	公園施設について	144	
	公園の維持・管理等について	36	
その他	旧上瀬谷通信施設の土地利用について	61	80
	周辺の交通について	15	
	その他	4	
	合計		416

4 いただいた意見への本市の考え方

分類	本市の考え方	意見数(件)
反映	原案に反映したもの	72
含む	ご意見の趣旨が素案に含まれていると考えられるもの	64
賛同	計画にご賛同いただいたもの	19
検討	継続して検討していくもの	153
参考	今後の参考とさせていただくもの	28
情報提供	関係部署に情報提供させていただくもの	80
	合計	416

※いただいたご意見の全件については、市ウェブサイトにて公表いたします。

5 主な意見と本市の考え方

(1) テーマ・方針について

主な意見	本市の考え方
横浜全体の視点に立ち、しっかりと緑を残した公園を作って欲しい。	花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを实践・発信する公園となるよう、引き続き、検討していきます。
地球温暖化対策を重視して欲しい。	国際園芸博覧会のレガシーでもある、SDGsの実現やSociety5.0、カーボンニュートラルの推進等の理念を継承していきます。
SDGsを進める今、環境問題を重視する姿が横浜にふさわしいと考える。	また、グリーンインフラの導入によって自然がもつ様々な機能を発信し、気候変動に適応した新たなモデルとなる公園とすることを、原案に反映しました。
何よりも災害時に頼れる場所になってほしい。	できる限りまとまったオープンスペースを確保することで、災害時には「広域応援活動拠点」や、地域の避難場所として防災機能を発揮する公園とすることを、原案に反映しました。

(2) エリアの考え方について

主な意見	本市の考え方
食と農が結びつくようなゾーン分けを希望。生き物の循環が体験できるような施設が良い。	近隣の農業振興ゾーンや瀬谷市民の森等との連携を前提にエリアを設定しており、今後、設計等を進めるなかで、具体的に検討していきます。
隣接する市民の森との連携による取り組みに言及していただきたい。	
レクリエーション施設やスポーツ施設の建設は賛成。これらの施設がつくられるよう公園エリアを大きくできないか。	スポーツも含むレクリエーションやアウトドア活動、憩いの場としての機能を拡充しながら、公民連携による公園の魅力や利用者サービスの向上を図り、街の賑わいにもつなげていくため、「みどりの賑わいエリア」を「みどりのレクリエーションエリア」と統合し、「みどりの賑わい・レクリエーションエリア」として、一体的に整備していきます。

(3) 公園施設について

主な意見	本市の考え方
思い切り体を動かせる広さの何もない敷地がほしい。	できる限りまとまったオープンスペースを確保し、草地広場など、利用者の憩いとなる場所を設置していきます。
広い芝生広場がある公園がいい。	
これまで硬式野球が長年行われてきた経緯を考慮して硬式野球場を整備して欲しい。	基本テーマや整備方針をもとに、様々なレクリエーションやアウトドア活動が楽しめる公園となるよう、いただいたご意見も踏まえ、現時点で想定する主な施設を原案に反映しました。
スポーツ施設は多くの人ができるよう、種目を限定しない方がよい。	なお、その他の施設については、継続して検討していきます。
天候や気候に左右されず楽しめる屋内施設が必要。	
花見や紅葉が楽しめる公園にして欲しい。	(原案に反映した具体的な施設) ・硬式野球場 ・多目的広場 ・桜並木 ・日本庭園・休憩施設 ・運動広場 ・パークセンター ・ドッグラン
ドッグランの設定を希望します。	
借景を活かした日本庭園のある公園にして欲しい。	
ウォーキングなどが一日中楽しめる場所にしてほしい。	園路にはジョギングコース等を設定し、運動しながら、園内を楽しく巡れる工夫を検討していきます。
ランニングコースを整備してください。	
小さい子供でも安心してケガなく遊べる場所の提供や、遊具の充実を希望する。	夏の厳しい暑さなどの気候や、年齢、障害の有無などにかかわらず、誰もがいつでも安心して楽しめる公園となるよう検討していきます。

(4) 公園の維持・管理等について

主な意見	本市の考え方
維持管理に関しては市民のボランティア活動が活かされ、利用者が参加しながら維持していく形が望ましい。	公園の維持管理など様々な場面で多様な主体が参加・運営することができる公園とします。 具体的な管理手法等については、引き続き、検討していきます。
整備に時間を掛けすぎ。花博から10年以内の全面供用を希望。	本市の財政状況も踏まえながら、早期に公園を利用いただけるよう、引き続き、整備計画を検討していきます。

(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園

基本計画（素案）について

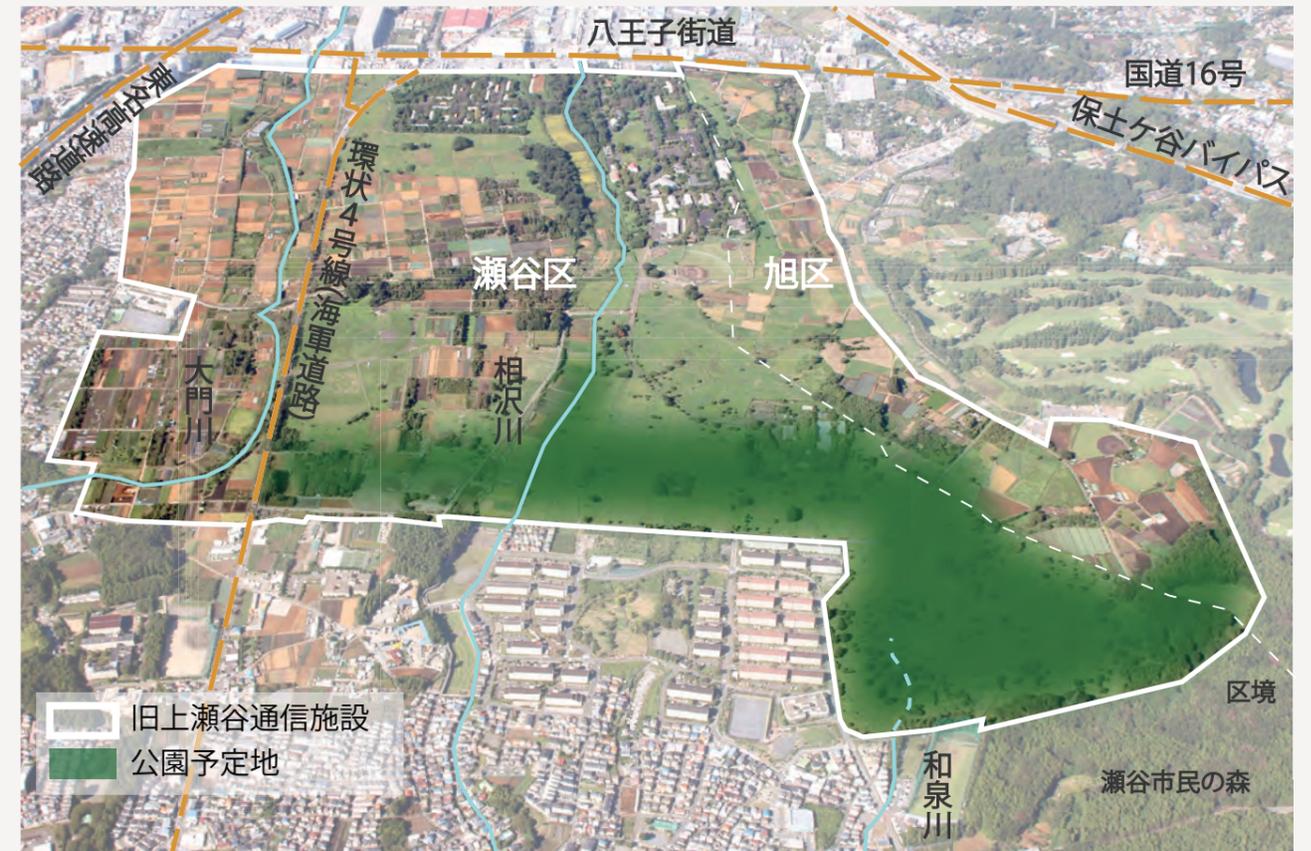
市民の皆様からのご意見を募集します

募集期間 令和2年12月17日(木)から令和3年1月15日(金)まで

旧上瀬谷通信施設は、平成27年6月に返還された米軍施設の跡地で、面積は約242haと首都圏でも貴重な広大な土地です。

横浜市では、令和2年3月に「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」を公表し、地権者の皆様や市民の皆様のご意見・ご要望を伺いながら土地利用について検討を進めており、まちづくりの一環として新たな公園の整備を計画しています。

旧上瀬谷通信施設においては、国際園芸博覧会開催に向けた取組を進めていることから、そのレガシーも継承していく公園として（仮称）旧上瀬谷通信施設公園について、市民の皆様からご意見をいただくための基本計画（素案）を作成しました。

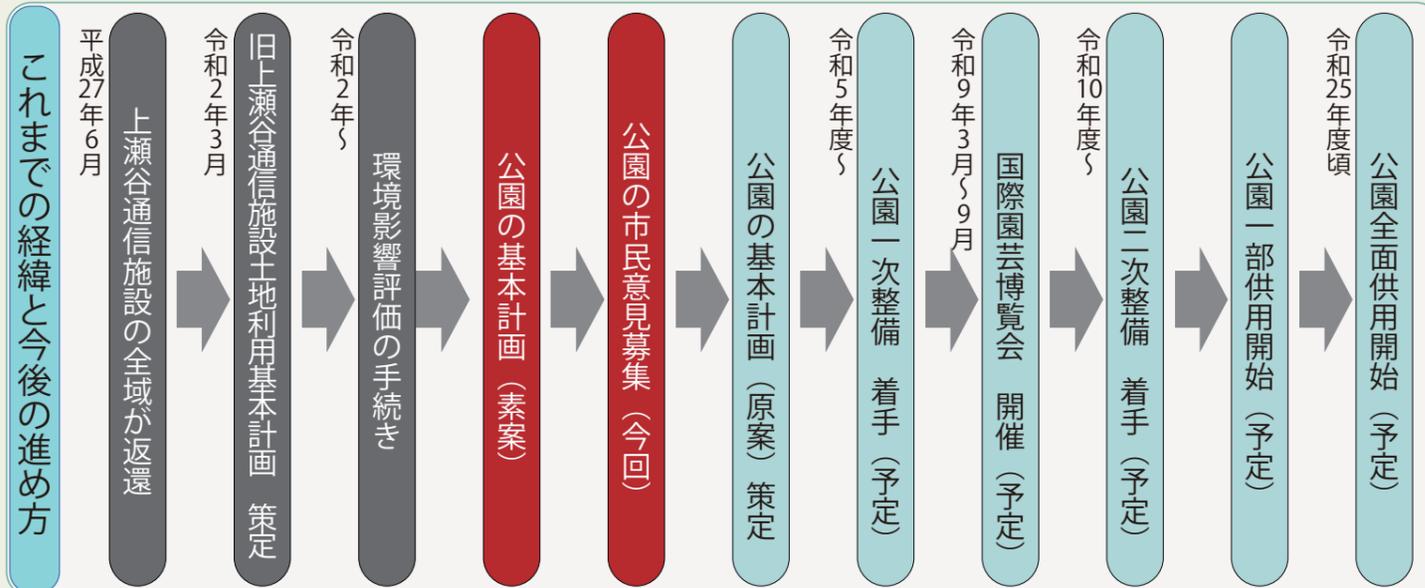


【旧上瀬谷通信施設の概要】

- ・隣接して広がる瀬谷市民の森など豊かな自然環境が残されています。
- ・まとまった農の風景が広がっています。
- ・保土ケ谷バイパスや東名高速道路などの幹線道路に近く、交通アクセスが良好です。

旧上瀬谷通信施設のまちづくりについては、以下のページをご参照ください。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/jokyo/sonota/kamiseya/kamiseysa.html>

横浜市



	令和2年～令和8年度	令和9年3月～9月	～令和25年度頃
環境影響評価など	→		
一次整備工事	→		
国際園芸博覧会開催		←→	
二次整備工事			→

※スケジュールは、現時点での想定であり、今後変更になる場合があります。

公園の基本計画（素案）について ご意見をお聞かせください。

募集期間 令和2年12月17日(木)から令和3年1月15日(金)まで

応募方法

- 次のいずれかの方法で、ご意見をお寄せください。
- ①はがき（左のはがきを切り取り、ご使用ください。）
[切手不要 当日消印有効]
 - ②FAX：045-671-2724 公園緑地整備課上瀬谷担当あて
 - ③電子メール：ks-ikenboshu@city.yokohama.jp
 - ④持参：受付時間 8時45分から17時まで（市庁舎28階）
 - ⑤ホームページ内電子申請システム：

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/tsukuru/seibikeikaku/kamiseya.html>
 左のQRコードからもアクセスできます。



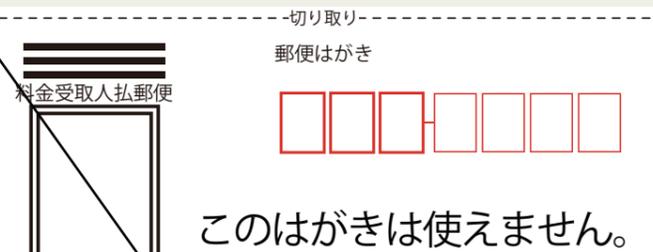
お問合せ

横浜市環境創造局公園緑地整備課上瀬谷担当(市庁舎28階)
 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
 電話番号：045-671-4615

注意事項

- ・ご意見への個別の回答は行いません。また、ご意見を正確に把握する必要があるため、電話でのご意見の受付はいたしません。
- ・ご意見の提出に伴い取得した個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」に従い適正に管理し、ご意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用します。

想定整備スケジュール



このはがきは使えません。

差出有効期間 令和3年1月15日まで (切手不要)
 横浜市中区本町6丁目50番地の10
 横浜市環境創造局公園緑地整備課上瀬谷担当
 (仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(素案)
 「市民意見募集担当」行

あなたの情報をご記入ください

【住所】 横浜市 _____ 区
 横浜市外

【年代】 ~20歳代 30歳代
 40歳代 50歳代
 60歳代 70歳代
 80歳代~

(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園 基本計画 (素案)

【公園計画の基本テーマ】

「みどり」で広がる暮らしの風景 花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、自然の恵みとともにある持続可能な新しいライフスタイルを実践・発信する。

【エリアの特徴】

現在の地形などをいかしながらかく4つのエリアを設定し、施設の整備を行います。

みどりのレクリエーションエリア

様々なスポーツなどのレクリエーションやアウトドア活動、憩いの場となり、災害時は広域応援活動拠点ともなるエリア

みどりの発信エリア

自然体験や農体験などを通して、自然と暮らしが調和する持続可能なライフスタイルを発信するエリア

みどりの賑わいエリア

民間活力の導入により、公園の魅力向上とともに街全体に活気と賑わいを生み出す機能を配置するエリア

みどりの実践エリア

自然とともにある心地よさや喜びを感じながら、森林浴やアウトドアの体験の場と地域の自然をいかした自然観察や環境学習などを行うエリア

【エリア図】

飲食・物販施設 など



レクリエーション
スポーツ施設 など



みどりの賑わい
エリア

みどりの
レクリエーション
エリア

みどりの発信
エリア

みどりの実践
エリア

草地広場 遊具広場 など



体験学習施設
体験農園
など



大花壇 森の散策路 キャンプ場
バーベキューサイト など



【公園整備の8つの方針】

1. 上瀬谷の「緑」と「水」を基調とした公園
上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とします。
2. 国際園芸博覧会のレガシーの継承・発信拠点
博覧会の跡地にできる記念公園として、博覧会の理念などを継承していく公園とします。
3. 「農」と持続可能なライフスタイルの融合
農体験ができる場の創出など、上瀬谷の農と持続可能なライフスタイルが融合し実践する場とします。
4. グリーンインフラ*の展開と緑の多面的機能の発信
グリーンインフラの効果を実感でき、自然がもつ様々な機能を発信する拠点とします。
5. 多様な主体が参画し、様々な楽しみ方を引き出せる公園
市民や企業、周辺まちづくりなどと連携し、地域の祭りや広域的なイベントなど、様々な主体が参加・運営することができる公園とします。
6. 楽しみながら自然と触れ合う心地よさや喜びを感じられる公園
豊かな自然環境の中で、自然とともにある心地よさや喜びを感じながら、体験・学習を行える公園とします。
7. 防災・減災に資する公園
万が一の災害時は「広域応援活動拠点」として防災機能を発揮するとともに、グリーンインフラの効果による減災機能も発揮できる公園とします。
8. 公民連携による質の高いサービスの提供
民間活力の導入により、公園の利便性の向上と賑わいを創出する機能を配置します。

(※グリーンインフラ：自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進めるための社会資本)

切り取り

(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園基本計画 (素案)

ご意見を令和3年1月15日(金)までに、このはがきでご回答ください。

基本計画 (素案) についての意見

●●● 公園区域
※写真はイメージです。
※公園区域・各エリアは、土地区画整理事業や、国際園芸博覧会の検討により、変更になる可能性があります。

